

入室の流れ

【エンカレッジルーム】

- ・児童のカームダウン
- ・支援が必要な児童の個別の学習支援
- ・不登校等の児童への支援

知的な遅れがなく、週1～2時間程度の指導で困難さや集団生活への適応に改善が期待できるお子さんが対象

レベル1、レベル2の場合は、保護者への説明と支援方法の相談・説明

要観察の場合は、保護者への説明と支援方法の相談・説明

【ちょっと心配】

- ・学級担任の気づき
- ・保護者からの相談

校内委員会で検討
(副校長・学年主任・CN)

校内判定委員会委員会で検討
(校長・副校長・担任・CN)

江戸川区特別支援教室
就学支援委員会で検討
(おおむね、年に5回あります)

【学校へ結果が届く】

- ・保護者へ結果を知らせる
- ・保護者と面談し、指導開始

- ・学年会や特別支援教育コーディネーター（CN）との相談
- ・スクールカウンセラー（SC）等との相談
- ・保護者との面談

・保護者の同意

- ・学校心理士やSC、CNによる観察
 - ・巡回指導教員による観察
 - ・担任は、区への提出書類の作成
 - ・保護者は、区への提出書類の作成
- ※発達検査の結果提出は必須**

- レベル1 学級担任の指導法の工夫による対応
- レベル2 **エンカレッジルーム**を活用しての対応
- レベル3 **特別支援教室による巡回指導が必要**

・レベル3

- ・CNは、区へ書類の送付

- ・**適判定**もしくは要観察

